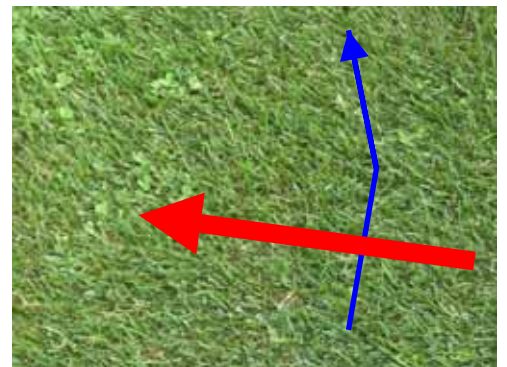


第23巻 パークゴルフ上達法Q&A V章

- 1、芝目によって曲がり方が違うというのですが・・・よくわかりません。芝目の見方を教えてください。また、重い芝のときに打ち切れないでショートするのですが対策がありましたら教えてください。



フックラインの芝です。青矢印に曲がる

上記の写真の矢印を見て下さい。カップに向かって芝がねています。従って矢印の始点からカップに向かって順目となります。順目はボールが良く転がります。逆目は、ブレーキがかかりますので転がりません。芝が右から左に生えている場合は、フックラインとなり、右側を狙っていかねばなりません。左から右に生えている場合は逆にスライスラインとなり左側に打っていきます。芝目の強さ、種類により、曲がり方は異なります。



ボール位置を右足側に置き
ハンドファーストに構え・・・

グリーンが長く転がらない、三つ葉が混在しているので転がらないなど重い芝の場合、打ち方の1方法として、**ボール位置を若干右足より**にし、**ハンドファースト**(グリップエンドが左足側へ・・・)に構え打って行く方法があります。この構えで打ちますと、より転がりの良いボールとなりボールが伸びます。試してみてください。

2、どうも、左脇が空きすぎると仲間から言われます。何故空いたらまずいのか、またどう直したらよいか教えてください。



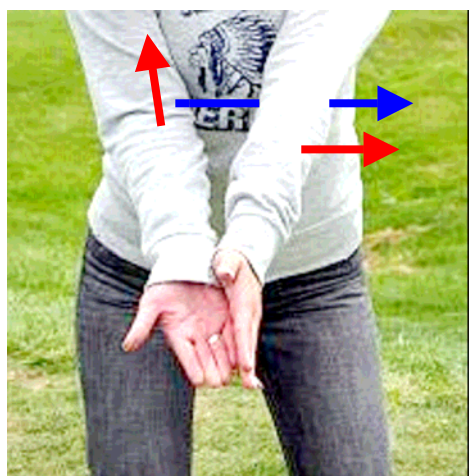
(左) 右脇が空いているため後方から見たら
右腕の位置が高い(左腕より) (×)



(右) 右脇が締まっているので左腕が
後方から見える (○) 右の二の腕が脇についている (○)

右脇が空いた場合

- ・ 正しいテイクバックが取りづらい。(アウトサイドに上がる人が多い)
- ・ 正しいスイング軌道が取りにくいので方向性が悪い。
- ・ 右脇が空いている多くの方はボールから離れて構えている人が多いのでパワーロスをして飛ばない。



左腕は、目標方向、右腕は上を向きます

正しい構え方

- ・ 右の二の腕を右脇につけてアドレスしてください。
- ・ 左腕は、目標方向に向けます。左手の手のひらを開きます。次に右手の手のひらを上図のように直角にあわせると、右腕は上を向きます。
この状態で、右腕を右脇につけてアドレスします。従って、後側からアドレスした状態をみたら**青矢印のように左腕と右腕の高さは左腕の方が若干高くなります。**
- ・ アドレスが完成したら、右脇を支点にして、テイクバックを開始します。すると、正しい軌道を通ったバックスイングを取ることが出来、ダウンスイングも正しい位置に戻すことができるので「ナイスショット」となるでしょう。

3、ショットが右に行くことが多いのですが……何とか真っ直ぐ飛ばしたいのです……！

原因は、1 つではありません。色々なことが考えられますし実際のスイングを見なければ正確な診断は出来ませんが、原因の一つとして、最近では、ボールを切って上げる人が多くなってきました。そのときのクラブフェイスの向きを開いて構えている場合クラブの返しが甘く開いた状態でボールが当たった時右方向にボールが出る人が多いようです。クラブフェイスが目標方向に正しくセットされているかの確認が必要です。



ティショットでクラブを開いて構えている(×)



ティショットでクラブがかぶさって構えている(×)



2打目以降 クラブが開いている(×)
目標は青矢印(赤矢印はボールが飛ぶ方向)



2打目以降 クラブの向きがかぶさっている(×)
目標は青矢印(赤矢印はボールが飛ぶ方向)



クラブフェイスは目標を向いています(○)



フェイスの向きは目標に相對しましょう(○)

単純に真っ直ぐ飛ばすという事は、正しい目標方向にクラブフェイスが向いているということが一番大事です。漠然と構えないで「キチン」と目標方向にクラブフェイスが相對しているか確認してから打ちましょう。